

第 1 回 土橋自然観察教育林連絡協議会協議事項

開催日時：2014 年 5 月 8 日（木）19：00～

開催場所：厚沢部町図書館視聴覚室

会 議 次 第

1. 開 会

2. 教育長挨拶

3. 協議事項

協議事項 1 平成 25 年度土橋自然観察教育林関係事業報告

協議事項 2 平成 26 年度土橋自然観察教育林関係事業計画

その他 懸案事項等自由討議

協議事項 1 平成 25 年度土橋自然観察教育林関係事業報告

主管係	社会教育係	記入者	石井淳平
事務事業名	土橋自然観察教育林管理事業	中期計画上の位置づけ	自然環境の保護と活用の推進
10 款 5 項 5 目	教育林管理費	事業費	3,802 千円
事業の目的 (求める成果)	(1) 土橋自然観察教育林の自然環境を保護し、その価値を維持する (2) 土橋自然観察教育林の活用に必要な遊歩道等の施設を管理し、利用者の安全を確保する (3) 土橋自然観察教育林の活用に必要な情報収集及び広報、学習機会を提供する		

1. 教育林コーディネーター活用事業

期日：通年

内容：情報収集及び発信、見回り及び保護活動、利用者対応、遊歩道管理。

2. 教育林巡回監視事業

期日：4 月～11 月

内容：巡回監視により、遊歩道破損状況及び危険箇所、看板等設置物破損状況、危険動物痕跡を発見・報告する。

3. 土橋自然観察教育林管理事業

期日：遊歩道修繕、(随時)、遊歩道草刈り (6 月)、倒木処理 (随時)

内容：遊歩道草刈りは、砂利舗装路及び見本林のみ外部委託。その他は随時手刈りにて対応。

4. 植物モニタリング調査

期日：6 月 (開花調査)、8 月 (結実調査)

内容：対象植物の個体数・開花結実数計測。

5. 教育林講座開催事業

◎教育林講座 第 1 弾「ラン科植物の多様性～昆虫に受粉を頼るための様々な工夫」

期日：5 月 29 日

講師：末次 健司 (京都大学大学院 人間・環境学研究科)

内容：新規教育林コーディネーターの紹介を兼ね、里山二次林における野生ツツジ類の生態について講演した。

6. 教育林観察会開催事業(資料 1)

◎月例観察会

期日：毎月第 4 日曜日(12 月除く)

内容：季節に沿った自然観察会及び自然工作。

7. 土橋自然観察教育林連絡協議会運営

◎第 1 回土橋自然観察教育林連絡協議会

期日：4 月 15 日

内容：平成 25 年度事業報告、平成 26 年度事業計画。

◎第 2 回土橋自然観察教育林連絡協議会

期日：6 月 11 日

内容：樹名板作成案の再検討について。

◎第 3 回土橋自然観察教育林連絡協議会

期日：9 月 13 日

内容：樹名板の解説文について。

◎第 4 回土橋自然観察教育林連絡協議会

期日：12 月 10 日

内容：平成 25 年度事業中間報告、平成 26 年度事業計画。

◎第 5 回土橋自然観察教育林連絡協議会

期日：3 月 19 日

内容：樹名板記載内容の最終確認。

8. 教育林パンフレット重版事業

期日：4 月

内容：平成 24 年度作成の原稿によりパンフレットを出版した（A3DM 折り）。

9. 樹木見本林整備事業

◎見本林樹木剪定事業

期日：11 月（剪定作業）

内容：見本林内の間伐・枝打ち、つる切り等の施業の実施。

◎樹名板作成事業

期日：通年

内容：樹名板の記載内容の検討、作成。

1 0．遊歩道の再設置事業

期日：4～11 月

内容：土砂崩れにより閉鎖中の遊歩道について、新ルート又は迂回路の再設置の検討とその事前調査。

1 1．ヒノキアスナロ植栽地における環境調査事業

期日：通年

内容：教育林内 302、303 林班のヒノキアスナロ人工林、および樹木見本林内の記念植樹域について、取扱検討のための事前調査として、地形図の作製を行った。

1 2．畑内川河畔林再生事業

期日：8 月 25 日

内容：畑内川の河岸において、河畔林再生を目的とし、月例観察会の機会に植樹作業を行った。

協議事項 2 平成 26 年度土橋自然観察教育林関係事業計画

主管係	社会教育係	記入者	石井淳平
事務事業名	土橋自然観察教育林管理事業	中期計画上の位置づけ	自然環境の保護と活用の推進
10 款 5 項 5 目	教育林管理費	事業費	4,575 千円
事業の目的 (求める成果)	(1)土橋自然観察教育林の自然環境を保護し、その価値を維持する (2)土橋自然観察教育林の活用に必要な遊歩道等の施設を管理し、利用者の安全を確保する (3)土橋自然観察教育林の活用に必要な情報収集及び広報、学習機会を提供する		

1. 教育林コーディネーター活用事業

期日：通年

内容：情報収集及び発信、見回り及び保護活動、利用者対応、遊歩道管理。

2. 教育林巡回監視事業

期日：平成 25 年 4 月～11 月

内容：巡回監視により、遊歩道破損状況及び危険箇所、看板等設置物破損状況、危険動物痕跡を発見・報告する。

3. 土橋自然観察教育林管理事業

期日：遊歩道修繕、(随時)、遊歩道草刈り (6 月)、倒木処理 (随時)

内容：遊歩道草刈りは、砂利舗装路及び見本林のみ外部委託。その他は随時手刈りにて対応。

4. 植物モニタリング調査

期日：6 月 (開花調査)、8 月 (結実調査)

内容：対象植物の個体数・開花結実数計測。

5. 教育林講座開催事業

◎教育林講座 第 1 弾「コーディネーター講座」

期日・内容：未定

講師：教育林コーディネーター 水本絵夢

◎教育林講座 第 2 弾「未定」

講師・内容ともにリクエストに応じて決定。

6. 教育林観察会開催事業(資料 2)

◎月例観察会

期日：毎月第 4 日曜日

内容：季節に沿った自然観察会及び自然工作。

7. 土橋自然観察教育林連絡協議会運営

期日：通常 4 月、11 月の 2 回を定期開催とし、課題が発生した場合に随時開催。

内容：教育林の保護と活用に関わる事業計画の協議。

8. 樹木見本林整備事業

期日：5～6 月(樹名板の設置)、5 月(樹木見本林の空地に植える樹種の検討)、ほか通年

内容：樹名板の設置、樹木見本林の空地に植える樹種の検討、観察会等での活用を企画、手持ち資料の作成。

9. 遊歩道の再設置(修繕)事業(資料 3)

期日：通年

内容：現在通行止め箇所の遊歩道の修繕(委託)、小橋の故障個所の修繕。

10. ヒノキアスナロ植栽地整備事業(資料 4)

◎ヒノキアスナロ植栽地環境調査事業

期日：10 月

内容：来年度以降、ヒノキアスナロ植栽地の取り扱いを検討するための調査として、該当地の植生調査や毎木調査等を行う予定である。その前段階として、調査項目の決定や調査区域の設定、樹木のナンバリングなどを行う。

◎ヒノキアスナロ記念植樹域整備事業

期日：5 月(現地視察)、11 月(実施)

内容：事前に施業範囲を明確に定めた上で、月例観察会等の機会に、町民の方々と植樹域のヒノキアスナロの「裾払い」の施業を行う。実施の際には対照区(無施業区)を設け、施業区との樹木の成長の様子と比較ができるようにする。

資料1 平成25年度土橋自然観察教育林月例観察会 開催報告

開催期日	参加人数	開催テーマ・内容
4月28日	27名	「森びらき 2013 春のいぶきを感じよう！」 …ミズバショウをはじめ、様々な花を楽しみつつ散策した。
5月26日	20名	「ミクロの世界をたんけんしよう！」 …虫眼鏡を使って、ミクロの視点から自然を観察した。
6月23日	22名	「樹木見本林観察会」 …樹木見本林の中を散策しながら、樹木の様子を観察した。
7月28日	24名	「セミの羽化観察会」 …夜、テントサイト周辺でセミの羽化の様子を観察した。
8月25日	14名	「畑内川のほとりに森をつくろう！」 …畑内川の川岸に河畔林が形成されるよう、植樹を行った。
9月22日	15名	「きのこ・粘菌観察会」 …葉の裏などにみつける粘菌を中心に観察した。
10月27日	雨天 中止	「紅葉観察会」 …秋の紅葉を楽しみながら教育林を散策する。
11月24日	8名	「森のリース作り体験」 …グルーガンを用いて自然物を使い、リース作りを行った。
12月	-	-
1月26日	10名	「冬のヒバ爺さんにあいにこよう！」 …スノーシューを履き、動物の足跡や冬芽を観察しながら、ヒバ爺さんまでの道を往復した。
2月23日	6名	「自分だけのおはしをつくってみよう！」 …木の枝を材料にナイフをつかって箸を作成した。
3月23日	6名	「つかい道から木をしろよう！」 …木材の用途からその樹木の特徴を学びながら散策した。
合計	142名	

資料 2 平成 26 年度土橋自然観察教育林月例観察会 年間計画

開催年	開催日時	開催タイトル・内容
2014 年	4 月 27 日(日)	「森びらき 2014 春のいぶきを感じよう！」 雪融けの頃、ミズバショウをはじめとする様々な花が咲き乱れる春の森を散策する。
	5 月 25 日(日)	「シダをみわけてみよう！」 ヒバ林の林床に特に多いシダ植物について、種の同定方法を参加者に指導したのち、どのような種が生育しているのか簡単な調査を行う。
	6 月 22 日(日)	「樹木見本林かんさつ会」 樹木見本林の中を散策しながら、樹木の葉と花を中心に観察する。ネイチャーゲームを同時に行う。
	7 月 27 日(日)	「セミの羽化かんさつ会」 夜、テントサイト周辺でセミの羽化の様子を観察する。ナイトトラップ（補虫管などを用いた虫トラップ）を設置する。
	8 月 24 日(日)	「粘菌かんさつ会」 葉の裏や木の幹でみつける粘菌を中心に観察する。虫眼鏡と実体顕微鏡を用いる。粘菌についての簡単な実験も行いたい。
	9 月 28 日(日)	「自然のものを使った工作体験(仮)」 自然のものを使った工作体験を行う。例えばオニグルミの外皮を用いた染物や、アイヌの伝統楽器であるムックリづくりなど。可能であれば指導いただける方をお呼びしたい。
	10 月 26 日(日)	「紅葉かんさつ会」 紅葉を楽しみ、樹木の果実や落ち葉を観察しながら、秋の教育林を散策する。
	11 月 23 日(日)	「樹木見本林のヒノキアスナロ施業体験(仮)」 樹木見本林内のヒノキアスナロ植樹地において、樹木の成長を促す「裾払い」の施業を行う。その際には同時に対照区を設け、自然状態(無施業)ではどのように成長するか比較しながら経過を観察できるようにする。
	12 月	(年末のためお休み)
2015 年	1 月 25 日(日)	「スノーシュー体験」 スノーシューを利用してヒバ爺さんまで歩く。アニマルトラッキングや樹木の冬芽を観察する。

	2月22日(日)	「冬芽のずかんをつくろう！」 樹木の冬芽を観察・スケッチして、参加者とともに簡単に図鑑を作成する。
	3月22日(日)	「自分だけのおはしをつくってみよう！」 木の枝をけずり、おはしを作成する体験を行う。

資料3 遊歩道の（再設置）修繕事業

1. 事業の目的

平成24年度以降、教育林の遊歩道の一部において、斜面崩壊の発生、および腐朽による構造物の破損等により、通行不可または看板により通行注意を促している箇所が複数ある。

本事業は、そういった遊歩道の箇所を修繕し、再び遊歩道を安全に利用できるようにするものである。

2. 遊歩道の再設置（修繕）箇所の詳細

事故 箇所	事故 発見日	事故の内訳	再設置(修繕) 時期・内容
I	H24.4.15	⑩分岐点より少し下り小橋を渡ったすぐの地点、トチノキの根返りにより遊歩道下の斜面が崩壊し、道幅が狭まっているため通行不可とした。⑨～⑩の遊歩道は一時閉鎖としている。	H26.4～6月 (委託)小規模な迂回路をつくる。
II	H25.8.19	⑦分岐点から⑧分岐点の方向へ進む途中、斜面際に遊歩道が及んでいる箇所にて土砂崩れが発生し、遊歩道が一部崩落している。⑦～⑧の遊歩道は一時閉鎖としている。	H26.4～6月 (委託)崩壊箇所の地盤を固めた上に、遊歩道を再設置する。
III	H24.5.20	遊歩道の分岐⑤付近の小橋において、羽目板の一部が腐朽により破損していた。危険なため一部を撤去し、注意喚起の看板を設置している。	H26.6～7月 (コーディネーター) 破損した羽目板を取り換える。
IV	H25.6.19	遊歩道⑤～⑦間の木道において、倒木により手すりの部分が破損していたり、老朽化で土台部分が破損していたりと通行に危険がおよぶ可能性があるため、全体的に修理の必要がある。現在は木道全体を通行不可としている。	H26.4～6月 (委託)破損した土台部分を新しい物と取り換える。
V	H25.8.19	⑦分岐点から⑧分岐点の方向へ進む途中、川を渡る木橋が破損していた。現在は通行不可としている。	H26.4～6月 (委託)新しい木橋を再設置する。

VI	H25.8.19	⑥分岐点から⑦分岐点の方向へ進む途中、川を渡る木橋が壊れているため修理が必要である。また⑥～⑦の遊歩道は一時閉鎖としている。	H26. 4～6月 (委託)新しい木橋を再設置する。
----	----------	--	-------------------------------

3. 遊歩道の(再設置)修繕箇所



資料4 ヒノキアスナロ植栽地整備事業

1. 事業の目的

平成25年度より、教育林内に位置する302、303小林班のヒノキアスナロ人工林、および樹木見本林近隣のヒノキアスナロ記念植樹域について、その取り扱いの検討・協議のために、事前に詳細な環境情報等を収集する事業を継続している。

来年度以降、該当地の植生調査や毎木調査等を行う事を予定しており、その際に町民参加が可能な調査については、観察会や教育林講座等の機会を利用して参加型事業として行いたいと考えている。今年度はその前段階として、調査項目の決定や調査区域の設定、樹木のナンバリングなどを行う。

また、記念植樹域のヒノキアスナロ林の一区画について、樹木間の風通しをよくする「裾払い」の施業を住民参加型事業として行う。該当地では、植樹後特に育成のための施業は行っていないが、子供たちが木を育てる体験をする為の素材としての利用、および自然状態（無施業状態）と施業下での樹木の成長の比較を行う試験的な利用を目的とし、施業を行う。

2. 事業対象

◎ヒノキアスナロ植栽地環境調査事業

・302、303小林班のヒノキアスナロ人工林

林小班	面積	樹種	林齢
302	1.08ha	ヒバ	52
303	0.92ha	ヒバ	58

・ヒノキアスナロ記念植樹域

植栽年月日	面積	樹種	植栽本数
H12.5.24	0.25ha	ヒバ	360
H13.5.26	0.14ha	ヒバ	600

◎ヒノキアスナロ記念植樹域整備事業

植栽年月日	面積	樹種	植栽本数
H13.5.26	0.14ha	ヒバ	600

以上の植栽地のうち、樹木見本林に隣する一区画を対象とする。対象の範囲は5月に協議会で現地視察を行い、明確に定める。

3. 事業内容

◎ヒノキアスナロ植栽地環境調査事業

期日：10月

内容：来年度以降、ヒノキアスナロ植栽地の取り扱いを検討するための調査として、該当地の植生調査、毎木調査等を行う予定である。その前段階として、今年度は調査項目の決定や調査区域の設定、樹木のナンバリングなどを行う。

◎ヒノキアスナロ記念植樹域整備事業

期日：5月(現地視察)、11月(実施)

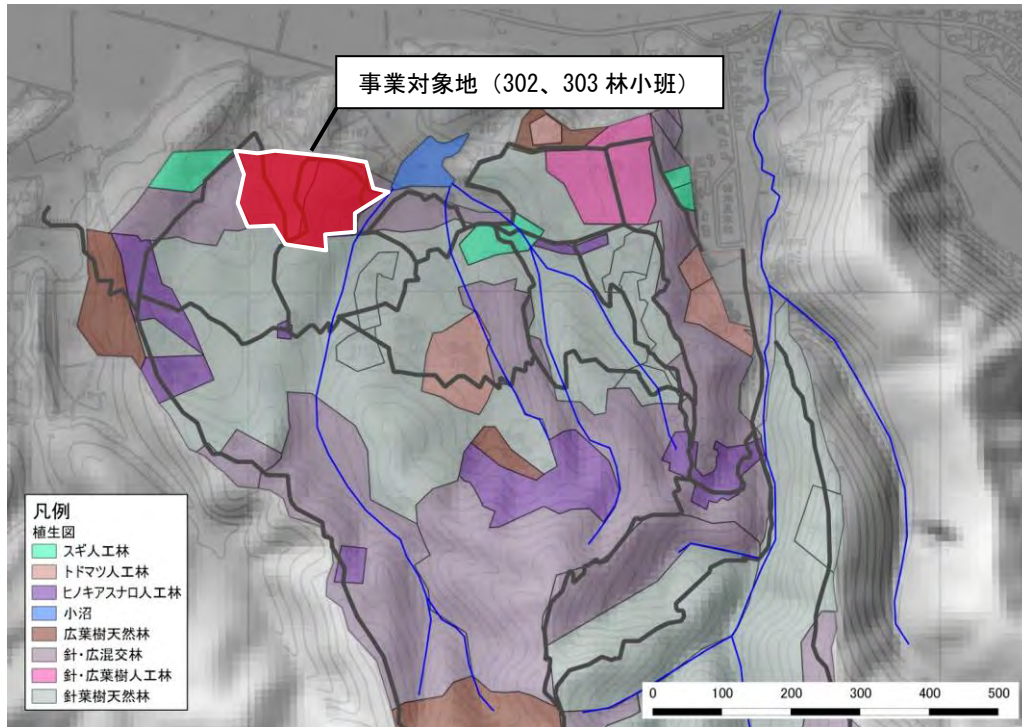
内容：事前に施業範囲を明確に定めた上で、月例観察会等の機会に、町民の方々と植樹域のヒノキアスナロの「裾払い」の施業を行う。実施の際には対照区(無施業区)を設け、施業区との樹木の成長の様子と比較ができるようにする。

●ヒノキアスナロ記念植樹域の様子



4. 事業対象地

●302、303 小林班のヒノキスナロ人工林



●ヒノキスナロ記念植樹域

